

投資家・国民の皆さま

WEB はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

外部評価による透明性確保

- ▶ 事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

低利率かつ安定的な資金調達

- ▶ 道路建設資金の安定的な調達に努めています

不正通行対策

基本的な取り組み

- ▶ 防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています
- ▶ 不正通行調査隊を組織しています **WEB**

ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

- ▶ 毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

投資家・金融機関の皆さまとの対話

- ▶ 事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています **WEB**
- ▶ 投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています **WEB**

地域住民の皆さまとの対話

- ▶ 高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています **WEB**

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

- ▶ 高速道路の現場を多くの方々に見学していただいています **WEB**

メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

- ▶ ウェブサイトの全面リニューアルを行いました
- ▶ より使いやすく、きめ細かな情報提供を目指して改良を重ねています

集中工事情報の広報

- ▶ 快適にご利用いただけるよう、広報と説明を徹底しています **WEB**
- ▶ 多様なメディアを活用した広報を実施しています **WEB**

透明性の高い経営の推進と着実な債務の返済

外部評価による透明性確保

事業評価監視委員会による外部評価を受け、事業の効率性・透明性を向上させています

NEXCO西日本では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。毎年1回開催し、当社的高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。委員会の開催状況はウェブサイトでも公開しています。

2015年度 事業評価監視委員会 委員

○ 常任委員

帯野 久美子 ((株)インターアクト・ジャパン 代表取締役)

斎藤 峻彦 (近畿大学名誉教授) = 委員長

出野 精二 ((社)関西経済連合会 常務理事・事務局長)

戸田 常一 (広島大学大学院教授)

中瀬 勲 (兵庫県立人と自然の博物館 館長)

○ 特別委員

長谷川 修一 (香川大学教授)

平井 彰 (一般社団法人九州経済連合会 常務理事・事務局長)

2015年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業

○ 再評価

舞鶴若狭自動車道 (福知山～舞鶴西) 22.8km

四国横断自動車道 (鳴門～高松市境) 51.8km

九州横断自動車道 (長崎芒塚～長崎多良見) 8.3km

計3事業82.9km

※1 再評価：採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

関連ページ

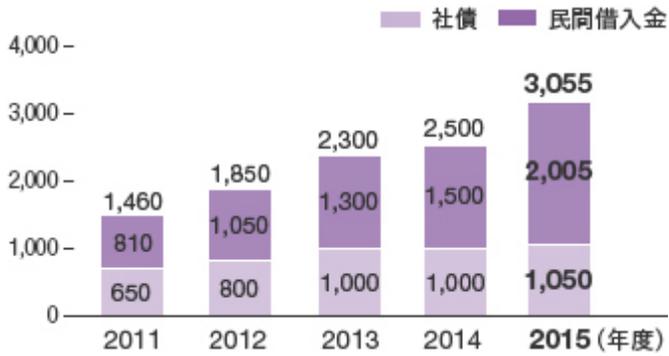
- ▶ [平成27年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会](#)

低利率かつ安定的な資金調達

道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業の遂行に必要な資金については、社債の発行や民間金融機関からの借入等によって調達しています。建設から管理まで長期にわたる事業となるため、低利かつ安定的に調達できるよう努めています。

▼資金調達の推移（単位：億円）



不正通行対策

基本的な取り組み

防止対策や啓発の強化によって、不正通行件数は年々減少しています

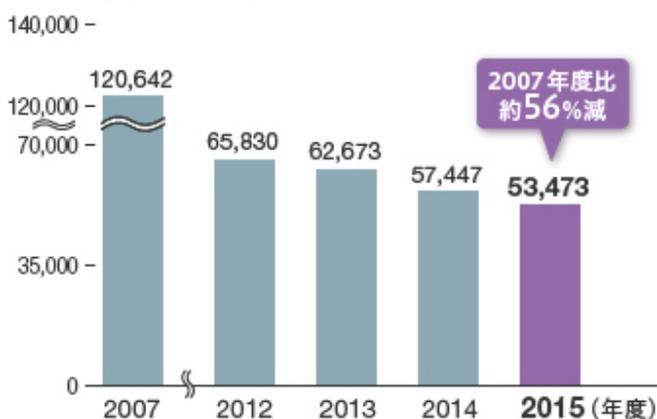
有料道路事業は、道路をご利用されるすべてのお客さまから公平に通行料金をご負担いただくことで成り立っています。

レーンを強行突破するなど不正に通行料金の支払いを免れる行為（不正通行）は、公平性の原則を揺るがす犯罪行為です。

そこで、当社では、毎年「不正通行対策強化月間」を設けて、警察との合同取り締まりをはじめとした各種取り組みを実施しています。また、ETCの利用方法を含めた不正通行事前防止の啓発活動も行っています。こうした取り組みによって、不正通行件数は年々減少しています。

今後も「不正通行は断固許さない」という毅然とした態度で、悪質な不正通行の分析調査に注力するとともに、警察の捜査にも積極的に協力し、その撲滅を目指していきます。

▼不正通行件数※の推移（単位：件）



※不正通行発生件数：後日課金申し出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を突破した車両の通行件数。ETC通信ができなかったことに気づかず、未課金のまま通過してしまった車両（ETC未課金車両）も含む。

さまざまな不正通行対策



「お知らせアンテナ」を設置し、ETCカード未挿入等による未精算通過を防止



不正通行を防止する開閉バーを一般レーンにも設置



料金所での立哨監視を強化するとともに、警察と連携した取り締まりも推進

不正通行調査隊を組織しています

上記のような不正通行対策のほか、不正通行者を特定するためのカメラを設置しています。また、専門チーム「不正通行調査隊」を組織し、走行のデータ分析や実態調査、警察への通報に必要な証拠収集などを行っています。

2015年度は、3件の逮捕・検挙があったほか、不正通行者24件を認定し、不法に免れた料金の3倍に相当する額を請求しました。

関連ページ

- ▶ [NEXCO西日本の事業エリアにおける不正通行の事例](#)

ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

毎月の開催を通じて、事業への理解の浸透に努めています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。



記者会見

投資家・金融機関の皆さまとの対話

事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

当社では、毎年7月頃に東京で、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を開催し、当社の事業に対する理解を深めていただくよう努めています。質疑応答などを通じて、経営層と直接対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

2015年度は、44機関83名の社債投資家や金融機関にご参加いただき、企業情報や決算情報に加え、2015年3月の協定変更で事業化された特定更新等工事、新名神高速道路の建設状況のほか、民営化10年を受けて実施されていた業務点検検討会の状況についてもご説明しました。

今後も皆さまの関心が高い事項をご説明するなど、より充実した説明会となるように努めてまいります。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

年度計画公表時や決算発表時など、時機をとらえて、投資家や金融機関の皆さまが多い東京を中心に個別訪問を実施し、事業内容や関心が高い事項についてタイムリーな情報提供に努めています。2015年度も64件の個別訪問を実施しました。

今後も、当社の事業に対するいっそうの理解促進を図るべく、積極的な情報提供に努めていきます。



2015年7月17日の事業説明会

地域住民の皆さまとの対話

高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。

また、説明会や設計協議 [☞](#) の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。



事業説明会（新名神大津事務所）



境界立会（新名神京都事務所）

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

高速道路の現場を多くの方に見学していただいています

普段は、目にすることのできない高速道路の現場を多くの方に見学していただき、当社の安全・安心の取り組みなどを“なるほど！”と発見していただく、現場見学会「なるほど！高速道路発見」を2014年度から開催しています。これまでに1,177組2,909人のご応募をいただき、239組588人のお客さまにご参加いただきました。

道路建設事業では新名神高速道路をはじめとした各地の建設工事現場、道路保全事業では道路維持や道路パトロールで使用する車両の乗車体験などの見学会を開催しました。

また、社員の技術力向上を目的として開設した茨木技術研修センターでは、親子を対象に、劣化した橋梁のたたき点検、料金所など、高速道路に関係するさまざまな業務を体験していただきました。

参加いただいたお客さまからは「環境や地元配慮した工事で安心した」「開通後に通るのが楽しみ」「たくさんの方のおかげで快適なドライブができることを実感した」などのご感想をいただいています。

今後も親子で参加していただける夏休み企画などのニーズの高い見学会を開催し、多くのお客さまに当社の安全・安心の取り組みなどを知っていただけるよう、積極的な広報に努めていきます。



パトロール車両乗車体験の様子



新名神高速道路
現場見学会の様子



建設見学会の専用受付サイト
「なるほど！高速道路発見」

メディアを通じた情報発信

ウェブサイトでの情報発信

ウェブサイトの全面リニューアルを行いました

お客さまから「情報量が多い」「必要な情報が探しにくい」とのご意見をいただいたことから、2015年度は、知りたい情報に早くたどり着けるよう、各ページの閲覧分析を行い、お客さまのニーズが高い情報を厳選するなど利便性向上を図りました。

料金・経路検索サイト [📄](#) では、検索結果に新たにETC [📄](#) 料金順を設けたほか、検索ルート内にあるSA・PAの施設情報の充実や事故が多発する危険箇所を表示し、お客さまが安全・快適なドライブをお楽しみいただけるよう改良しました。

さらに、英語サイトに加え、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、韓国語の4言語のサイトを構築し、外国人のお客さま向けサービスの充実を図りました。

今後も、お客さまからのご意見・ご要望やアンケート結果やウェブサイトの分析結果を踏まえて、お客さまのニーズが高い情報を中心にウェブサイトの改良に努めます。



外国語サイト（英語）



料金検索結果イメージ

より使いやすく、きめ細かな情報提供を目指して改良を重ねています

当社では、ウェブサイトにおいて、料金・経路検索サービス、交通情報や渋滞予測情報、工事規制情報などについて、きめ細かな情報提供を心がけています。情報は日々更新するとともに、使いやすいサイトを目指し、改良を重ねています。また、事業内容や記者発表、IR [📄](#) 情報、調達・お取引情報などについても積極的に公開しています。

集中工事情報の広報

快適にご利用いただけるよう、広報と説明を徹底しています

当社では、営業中路線の集中工事を実施する際には、お客さまに高速道路を快適にご利用いただけるよう広報を行っており、高速道路をご利用いただくお客さまだけでなく、沿線地域の皆さまや、自治体、交通管理者などの関係機関に対しても、広報と事前説明を徹底しています。

ウェブサイトやリーフレットについては、お客さまが工事情報を詳細に知ることができる広報手段であるため、よりわかりやすく見やすいように心がけるとともに、集中工事の必要性や実施することでの利点なども含めてご理解いただけるよう内容の充実を図っています。



リフレッシュ工事特設サイト

多様なメディアを活用した広報を実施しています

集中工事などの広報においては、テレビ・ラジオCMをはじめ、高速道路本線の電光掲示板やSA・PAのハイウェイ情報ターミナル、リーフレット、ポスター、フリーペーパー、ウェブサイト、お客さまセンターなど、あらゆるコミュニケーション手段を活用してお客さまにお伝えしています。

特に、2015年3月25日に国土交通大臣より事業許可を受け、本格的に着手した高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）では、大規模な工事を実施するため長期間にわたる交通規制が必要になります。

交通規制に伴う社会的な影響をできるだけ軽減するための工夫を継続的に行うとともに、高速道路をご利用されるお客さまや沿道の皆さまに、丁寧な情報発信を心がけてまいります。



ウェブサイト



ポスター



リーフレット